

平成28年7月29日
横浜中央信用組合

第3回会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置いたしました。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的とし、平成26年12月2日に第一回経営諮問会議を開催、以後半期に一度の周期で「経営諮問会議」を開催しております。

平成27年12月16日（水）、「第3回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第4回会議は、平成27年度決算が確定後の平成28年7月頃に開催する予定にしております。

記

1、日 時

平成27年12月16日（木） 16：05～

2、場 所

横浜中央信用組合本店4階大会議室

3、出席者

（経営諮問委員）＜敬称略＞

後 宏治 （公認会計士 税理士）

佐藤 明夫 （弁護士）

川上 陸司 （経営コンサルタント）

（横浜中央信用組合）

呉 龍夫 （理事長）

飯山 高康 （常務理事）

松山 昌辰 （常務理事）

有川 繁雄 （常勤理事）

池野 和己 （常勤理事）

澤崎 秀幸 （常勤監事）

4、呉理事長挨拶要旨

当組合3か年計画は順調に推移している中、内部において不祥事の問題が発生し、近く公表をすべく準備を進めている所です。営業成績は順調であるが、ガバナンス、コンプライアンス等に問題を抱えており、本日委員の皆様方からご質問、ご意見を頂戴し、今後の経営に生かしてまいりたいとの挨拶を行いました。

5、当組合からの説明要旨

- ・平成27年度中間決算実績
- ・平成27年度「経営強化計画」における進捗状況
- ・今後の経営課題（内部研修、店舗戦略、システム導入、コンプライアンス等）

6、意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- 貸出金増加による収益増強のため、預金を積極的に集めることは良いかと思うが、運用がどれ程できているか、預貸率にも気を配る必要がある。
- 業種別貸出では特定業種への伸びが目立つ。
- 貸出の大口化の問題と小口分散についてどのようなバランスを考えているのか、大口化により数字が上がるが、逆にリスクが発生することになるので、その辺りのマネージメントに注意する必要がある。
- 現在当局の流れは、ガバナンス等に視線を移し、これをメインとしている。ガバナンスについて信用組合に銀行と同等のレベルを求めるのは難しいところであるが、何らかの形で求められてくるものだと思う。当然議論されてきた事として常勤役員と非常勤役員の役割、総代会、理事会、常勤理事会などの役割をはっきりさせることが重要である。
- 預金について、たとえ金利が変動しても流出しない様な預金の集め方をしていく事が必要だと思う。また18店舗の事務オペレーションを周知徹底させ、効率化を含めて機能していくようにする必要がある。
- 合併後の2年を終え、次の3か年計画が大変重要だと思う。次の3か年のポリシーをしっかり持つことが重要。

(2) 組合からの回答

本日は貴重なご意見を頂きまして誠にありがとうございました。

本日頂いた貴重なご意見・アドバイスを内部で検討し、今後の具体的な戦略、施策に繋げて参りたいと存じます。今後とも委員の皆様のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。本日は、長時間に亘り、有難うございました。

以上